

平成 30 年度プリムラ利用状況 平成 30 年 4 月 1 日～31 年 3 月 31 日

平成 29 年度プリムラ利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	20	21	21	21	18	18	22	21	19	18	19	20	238
補助	113	147	161	165	122	133	138	143	131	140	139	110	1642
自主	0	1	2	0	0	3	0	1	0	1	2	0	10
合計	113	148	163	165	122	136	138	144	131	141	141	110	1652

平成 31 年 3 月

3月の利用者数は110名でした。年齢別では1才児の39名（16%）、次いで2才児の25名（23%）、才児の13名（12%）でした。

疾患別では上気道炎の48名（44%）、次いでヒトメタニューモウイルス感染症と胃腸炎が同数の11名（10%）でした。2月には77名もいたインフルエンザA型は6名に急減し、例年より早く流行は終息しました。

平成30年度の利用者総数は1,652名でした。平成29年度の1,735名に及びませんが、インフルエンザの流行が例年より早く終息したことによるものと判断されます。

利用者数の増加に伴い、昨年11月から定員が7名から8名に増員されましたが、利用率は90%に近く、ほぼ満室の状況が続いています。

平成 31 年 2 月

2月の利用者数は141名でした。年齢別順位の1位は6才児の23名（16%）、2位は1才児、2才児、3才児が同数の22名（16%）でした。

疾患別順位の1位はインフルエンザA型の77名で全体の83%も占めました。2位は上気道炎の33名（23%）、3位は胃腸炎と咽頭炎が同数の10名（23%）でした。インフルエンザA型は1月より24名減少しましたが、特に月末に減っており、収束に向かうと思われます。

平成 31 年 1 月

1月の利用者数は141名でした。年齢別順位の1位は3才児の29名（21%）、2位は1才児の21名（15%）、3位は5才児の20名（14%）でした。

疾患別順位の1位はインフルエンザA型の101名で全体の72%も占めました。2位は胃腸炎と上気道炎が同数の10名（7%）でした。

予測通り1月はインフルエンザが急増しました。国立感染症研究所も例年になく流行の

拡大を警告しており、2月も流行が続くと予測されます。

平成30年12月

12月の利用者数は132名でした。年齢別順位の1位は1才児の38名（29%）、2位は3才児の19名（14%）、3位は4才児の18名（13%）でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の65名（49%）、2位は咽頭炎の16名（12%）、3位は胃腸炎の15名（11%）でした。

インフルエンザの流行は1月から始まる年が多いのですが、今年は12月から流行が始まり14名に達しました。国立感染症研究所も警報を発しており、1月には急増すると予測されます。

平成30年11月

11月の利用者数は144名で11月の月間記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の52名（36%）、2位は3才児の19名（13%）、3位は2才児の18名（12%）でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の74名（51%）、2位は胃腸炎の42名（25%）、3位は咽頭炎の13名（9%）で10月と同じ順位でした。

平成30年10月

10月の利用者数は138名でした。年齢別順位の1位は1才児の45名（33%）、2位は2才児の31名（22%）、3位は5才児の11名（8%）でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の61名（44%）、2位は胃腸炎の32名（25%）、3位は咽頭炎の19名（12%）でした。喘息様気管支炎は7名で急減しました。

平成30年9月

9月の利用者数は136名でした。年齢別順位の1位は1才児の48名（35%）、2位は2才児の27名（20%）、3位は3才児の13名（11%）でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の67名（49%）でした。2位は胃腸炎の26名（19%）、3位は喘息様気管支炎の19名（14%）でした。これまでの系統的な分析から喘息様気管支炎は季節の変わり目の9月がピークになりますが、今年も同じ傾向となりました。

プリムラは年間4つの目標を建てて製作活動を行っています。今月から製作目標はハロウィンですが、これに合わせて入口フロアの壁紙も変えました。保育室の雰囲気も変えて製作活動を盛り上げます。



壁紙

平成 30 年 8 月

8月の利用者数は122名でした。年齢別順位の1位は1才児の52名(43%)、2位は2才児の21名(17%)、3位は5才児の20名(16%)でした。5才児が上位に入るのは珍しいですが、20名のうち19名は呼吸器系疾患でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の55名(45%)でした。2位は咽頭炎の32名(26%)、3位はヘルパンギーナの7名(6%)でいずれも呼吸器系疾患でした。

平成 30 年 7 月

7月の利用者数は165名で7月の月間記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の52名(32%)、2位は2才児の28名(17%)、3位は3才児の25名(15%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の78名(47%)でした。2位は咽頭炎の35名(21%)、3位は胃腸炎の13名(8%)でした。

平成 30 年 6 月

6月の利用者数は163名でした。年齢別順位の1位は1才児の76名(48%)、2位は2才児の31名(19%)、3位は4才児の13名(8%)でした。最多の1才児のうち、35名が上気道炎でした。

疾患別順位の1位は上気道炎の55名(34%)でした。2位は咽頭炎の41名(25%)、3位はアデノウイルス感染症の18名(11%)でした。上気道炎、咽頭炎を含む呼吸器系疾患が全体の約91%を占めました。

平成 30 年 5 月

4月の利用者数は148名で、5月の月間記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才

児の 58 名 (39%)、2 位は 2 才児の 31 名 (21%)、3 位は 3 才児の 16 名 (11%) でした。最多の 1 才児のうち、37 名が上気道炎でした。

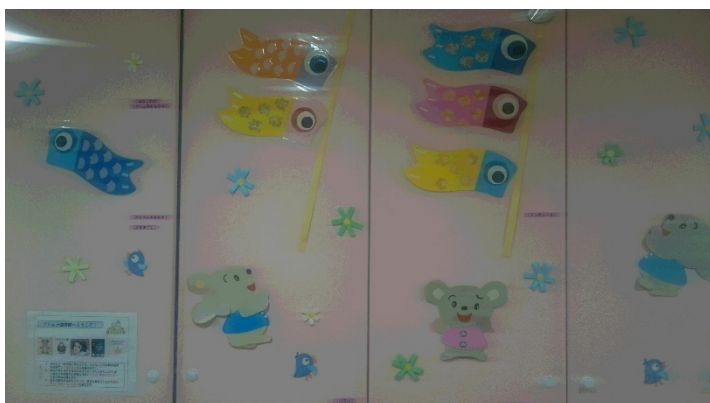
疾患別順位の 1 位は上気道炎の 84 名 (57%) で今月も約 1/2 以上を占めました。2 位は咽頭炎の 22 名 (15%)、3 位は胃腸炎の 8 名 (7%) でした。上気道炎、咽頭炎を含む呼吸器系疾患が全体の約 85% を占めました。

平成 30 年 4 月

4 月の利用者数は 113 名で、100 名以上が 27 ケ月連続で続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 30 名 (27%)、2 位は 3 才児の 24 名 (21%)、3 位は 2 才児の 20 名 (18%) でした。最多の 1 才児のうち、23 名が上気道炎でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 66 名 (58%) で 1/2 以上を占めました。2 位は胃腸炎の 17 名 (15%)、3 位は咽頭炎の 8 名 (7%) でした。昨年はインフルエンザが 1 位で 77 名もおりましたが、今年は“0”です。流行は早く始まり、早く収束しました。

年間 4 つのテーマを設け製作活動をしています。4～5 月は「鯉のぼり」で、壁面飾りもこれに合わせて変更しました。みな職員の手作りです。



春の壁面飾り